

# みんなの随想

10日間の山旅は、予定の6座（十勝岳、旭岳、利尻岳、羅臼岳、斜里岳、雌阿寒岳）を登り、1日の予備日が取れました。ここで帰途に就くと後悔と落胆を味わうので、欲張ってもう1座。時間と体力、お天気が勝負のトムラウシ山を目指すことにしました。

トムラウシ温泉までは快適なドライブでしたが、短縮コース登山口までのアクセスは最悪、対向車が来ないことを祈りながら、弱っている路肩や崖下転落に神経を傾注させてハンドルを握っていると、案の定、下

## 渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング  
代表取締役



山のツアーを乗せたマイクンで雪渓あり。アツパダ沢へ、岩と泥んこの急登をロバスが下りてきました。ウンと長いアプローチな下り、沢に沿って緩やかなキャンパーとマイクンがど聞かされ、自信喪失で心登り、絶好の休憩ポイント交差できる場所を探すため、地悪く布団に入りました。頭上には後続車を止めて、徒歩で路7月19日、眠れないまま、雪渓、新緑。せせらぎを聞肩を確認し、嫌々ながらパウトウト3時すぎに目が覚きながら、最高の気分で朝食をして、幅員ギリギリめ外を覗くと、小雨にも拘食を取りました。

のすれ違いも無事、小雨にわらず、複数のヘッドライ雨が上がり、気圧も上昇揺れる雑草を擦りながら終トの灯りが元気に行動してきみ、アイゼン無しで一步一步踏みしめ前トム平へ。今度は岩場を下りきると、何十種類の高山植物が群生

## 山に魅せられて7

点の駐車場に着きました。いま。不安と寝不足で暫し一斉に初夏の息吹を満喫明朝の準備を済ませ、コし瞑想しましたが、雨武装できる、天空の楽園』トムラースを念入りに確認し、雨し4時45分に登頂開始。初ウシ公園』に到着。カメラ音を聞きながら一人晩酌をのめての両ストックで歯を食に夢中になり電池ランプがしている、夕闇の中雨具いしぱり、ひたすら悪路を点滅。最後の岩場を登りきに包まれた中高年者が次々若手の健脚パーティーに食り、予定より1時間早く方とゴールしてきたので、山い付いて、カムイ天上付近歳！見ず知らずの人と、の情報を尋ねました。で夜が明けてきました。持ち込んだ食料を交換しながらの山談議は疲労が希望

「暗いうちに出発し、天少し自信を取り戻し、今からの山談議は疲労が希望気が悪かった。登山道は泥度はマイペースでコマドリの「エネ」に変わりました。